

注3

大学番号：001

意見伺い

[平成29年度設置]

計画の区分： 研究科以外の教育研究上の基本となる組織（学校教育法第100条）の設置

注1

北海道大学大学院 医理工学院 医理工学専攻

注2

【意見伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人北海道大学

平成30年5月1日現在

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学新設の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

＜北海道大学大学院 医理工学院 医理工学専攻（修士課程，博士後期課程）＞		ページ
1. 調査対象大学等の概要等	・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2. 授業科目の概要	・・・・・・・・・・・・・・・・	8
3. 施設・設備の整備状況、経費	・・・・・・・・・・・・・・・・	20
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	・・・・・・・・・・・・・・・・	22
5. 教員組織の状況	・・・・・・・・・・・・・・・・	27
6. 留意事項等に対する履行状況等	・・・・・・・・・・・・・・・・	41
7. その他全般的事項	・・・・・・・・・・・・・・・・	42

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 北海道大学

(2) 大学名 北海道大学

(3) 大学の位置

〒060-8638
北海道札幌市北区北15条西7丁目
(〒060-0808：北海道札幌市北区北8条西5丁目)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(ナワ トヨハル) 名和 豊春 (平成29年4月1日)		
学院長	(シラト ヒロキ) 白土 博樹 (平成29年4月1日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

〈修士課程〉

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成28年度開設の博士後期課程の場合(平成30年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
大学院医理工学院 医理工学専攻 (修士課程) 修士(医理工学)	学際領域 (工学関係, 医学関係)	2年	12人	24人	基礎となる学部等 理学部物理学科 工学部機械知能工 学科機械システム コース 医学部保健学科放 射線技術科学専攻

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成29年度		平成30年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	12 (-) [-]	人 人	12 (-) [-]	人 人			1.12倍 10月入学者を対象として, 本年7月に外国人留学生特別選抜を, 本年8月に社会人入試を含む入学試験を実施予定であり, 現在, 募集要項を作成し, 関係大学・機関等へ周知を行っている。	
志願者数	15 (1) [-]	1 (-) [-]	15 (-) [-]	人 () []				
受験者数	15 (1) [-]	1 (-) [-]	14 (-) [-]	人 () []				
合格者数	15 (1) [-]	1 (-) [-]	12 (-) [-]	人 () []				
B 入学者数	15 (1) [-]	1 (-) [-]	11 (-) [-]	人 () []				
入学定員超過率 B/A	1.33		0.91					

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	平成29年度		平成30年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	15 [-] (-)	1 [-] (-)	11 [-] (-)	1 [-] (-)	
2年次	/		15 [-] (-)	- [-] (-)	
計	16 [-] (-)		27 [-] (-)		

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

〈修士課程〉

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成29年度	16人	0人	平成29年度	0人	0人	
平成30年度	27人	0人	平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	0人	0人	
合計	43人	0人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{16} = \boxed{0} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{27} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

〈博士後期課程〉

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成28年度開設の博士後期課程の場合(平成30年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
大学院医理工学院 医理工学専攻 (博士後期課程) 博士(医理工学)	学際領域 (工学関係, 医学関係)	3年	5人	15人	基礎となる学部等 理学部物理学科 工学部機械知能工 学科機械システム コース 医学部保健学科放 射線技術科学専攻

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	5 (-) []	人 人	5 (-) []	人 人	5 (-) []	人 人	() []	() []	1.30倍 現在, 本学に研究生として 在籍している外国人留学生 のうち1名が10月入学を目指 して入学試験に出願予定で あり, 他に外国人留学生や 社会人からの問い合わせも 来ていることから, 入学定 員を満たす見込みである。	
志願者数	6 (3) [1]	3 (1) [2]	5 (4) [-]	() []	() []	() []	() []	() []		
受験者数	6 (3) [1]	3 (1) [2]	5 (4) [-]	() []	() []	() []	() []	() []		
合格者数	6 (3) [1]	3 (1) [2]	4 (3) [-]	() []	() []	() []	() []	() []		
B 入学者数	6 (3) [1]	3 (1) [2]	4 (3) [-]	() []	() []	() []	() []	() []		
入学定員超過率 B/A	1.8		0.8							

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	6 [1] (-)	3 [2] (-)	4 [-] (-)	2 [1] (-)	[]	[]	[]	[]	
2年次	/		6 [1] (-)	- [-] (-)	[]	[]	[]	[]	
3年次	/		/		[]	[]	[]	[]	
計	9 [3] (-)		12 [2] (-)		[]	[]	[]	[]	

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況**について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

〈博士後期課程〉

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成29年度	9人	1人	平成29年度	1人	1人	除籍(1人)
平成30年度	12人	0人	平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	0人	0人	
合計	21人	1人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{9} = \boxed{11.11} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{12} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<大学院医理工学院 医理工学専攻（修士課程）>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通科目	医理工学連携総論	1前	2			1							
	医療機器開発特論	1後	1			3						2	
	医療機器臨床研究特論	1前	1				1					2	
	総合医理工学研究Ⅰ	1～2通	2			4	3	1	4				
	総合医理工学研究Ⅱ	1～2通	8			4	3	1	4				
必修科目	量子医理工学科目群	医理工放射線物理学	1前	2								2	
		粒子線医学物理学	1後	2			1		1				
		治療医学物理工学	1前	2			1						
	分子医理工学科目群	医理工連携画像診断医学	1前	2					1				6
		医理工連携機能画像診断学	1後	2									2
		放射線診断・核医学基礎物理学	1前	2			1						
		医理工基礎物理学	1・2前		2								1
選択科目	医理工画像解剖学	1前		1					1			2	
	医理工学研究概論	1前		1		1						3	
	医理工実験・研究計画法	1前		1								7	
	医理工統計学	1・2後		2								1	
	医理工連携放射線防護学	1前		2		1						1	
	医理工国際標準・法規・リスクアナリシス特論	1後		1								1	

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通科目	医理工学連携総論	1前	2			1							
	医療機器開発特論	1後	1			3						2	
	医療機器臨床研究特論	1前	1				1					2	
	総合医理工学研究Ⅰ	1～2通	2			4	3	2	2	4			
	総合医理工学研究Ⅱ	1～2通	8			4	3	2	2	4			
必修科目	量子医理工学科目群	医理工放射線物理学	1前	2								2	
		粒子線医学物理学	1後	2			1			1		1	
		治療医学物理工学	1前	2			1						
	分子医理工学科目群	医理工連携画像診断医学	1前	2						1			7
		医理工連携機能画像診断学	1後	2					1				1
		放射線診断・核医学基礎物理学	1前	2			1						
		医理工基礎物理学	1・2前		2				1				
選択科目	医理工画像解剖学	1前		1						1		3	
	医理工学研究概論	1前		1		1						6	
	医理工実験・研究計画法	1前		1								6	
	医理工統計学	1・2後		2								1	
	医理工連携放射線防護学	1前		2		1		1				1	
	医理工国際標準・法規・リスクアナリシス特論	1後		1								1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
選択科目	情報プログラミング特論	2前		1					1		1
	医理工人間システム工学	1・2前		2							1
	医理工バイオメディカルエンジニアリングⅠ	1・2前		1							3
	医理工バイオメディカルエンジニアリングⅡ	1・2後		1							3
	医理工原子核基礎論Ⅰ	1・2前		2							1
	医理工原子核基礎論Ⅱ	1・2後		2							1
	医理工原子核物理学特別講義Ⅰ	1・2通		1							1
	医理工原子核物理学特別講義Ⅱ	1・2通		1							1
	医理工応用物理学	1・2後		2							1
	医用放射線計測学	1後		2					2		
	医療情報理工学特論	1後		1							2
	医理工画像工学	1・2後		2							1
	医理工加速器科学	1・2前		2							1
	医理工応用放射線科学	1後		2							2
	Medical Physics School	1・2前		2		2	2		4		1
	放射線生物学	1前		1					1		1
	医理工連携放射線腫瘍学	1後		2			1				1
	基礎放射線治療物理学	2前		2		1	1		3		
	分子腫瘍病理学	1後		2			1				
	分子腫瘍治療学	2後		2			1				
分子プローブ学	1後		2		1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
選択科目	情報プログラミング特論	2前		1						1	1
	医理工人間システム工学	1・2前		2							1
	医理工バイオメディカルエンジニアリングⅠ	1・2前		1							3
	医理工バイオメディカルエンジニアリングⅡ	1・2後		1							3
	医理工原子核基礎論Ⅰ	1・2前		2							1
	医理工原子核基礎論Ⅱ	1・2後		2							1
	医理工原子核物理学特別講義Ⅰ	1・2通		1							1
	医理工原子核物理学特別講義Ⅱ	1・2通		1							1
	医理工応用物理学	1・2後		2				1			
	医用放射線計測学	1後		2						2	
	医療情報理工学特論	1後		1							2
	医理工画像工学	1・2後		2							1
	医理工加速器科学	1・2前		2							1
	医理工応用放射線科学	1後		2							2
	Medical Physics School	1・2前		2			3		1	3	2
	放射線生物学	1前		1				1	1		1
	医理工連携放射線腫瘍学	1後		2			1				1
	基礎放射線治療物理学	2前		2		1				3	1
	分子腫瘍病理学	1後		2				1			
	分子腫瘍治療学	2後		2				1			
分子プローブ学	1後		2		1		1		1		

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
選 択 科 目	放射線診断・核 医学応用物理学	1後		2		1						
	Radiation Biology School	1・2 後		2		1			1			1

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
選 択 科 目	放射線診断・核 医学応用物理学	1後		2		1						
	Radiation Biology School	1・2 前		2		1			1			1

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	医理工学連携総論	1前	2			1						
	医療機器開発特論	1後	1			3						2
	医療機器臨床研究特論	1前	1			1						2
	総合医理工学研究 I	1～2通	2			6	3	2	4			
	総合医理工学研究 II	1～2通	8			6	3	2	4			
必修科目	量子医理工学科目群	医理工放射線物理学	1前	2								2
		粒子線医学物理学	1後	2			1			1		
		治療医学物理工学	1前	2			1					
	分子医理工学科目群	医理工連携画像診断医学	1前	2					1			8
		医理工連携機能画像診断学	1後	2			1					1
		放射線診断・核医学基礎物理学	1前	2			1					
選択科目	医理工基礎物理学	1・2前		2		1						
	医理工画像解剖学	1前		1				1				2
	医理工学研究概論	1前		1		1						3
	医理工実験・研究計画法	1前		1								7
	医理工統計学	1・2後		2								1
	医理工連携放射線防護学	1前		2		1						1
	医理工国際標準・法規・リスクアナリシス特論	1後		1								1
	情報プログラミング特論	2前		1						1		1
	医理工人間システム工学	1・2前		2								1

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
選 択 科 目	医理工バイオメ ディカルエンジ ニアリングⅠ	1・2 前		1								3
	医理工バイオメ ディカルエンジ ニアリングⅡ	1・2 後		1								3
	医理工原子核 基礎論Ⅰ	1・2 前		2								1
	医理工原子核 基礎論Ⅱ	1・2 後		2								1
	医理工原子核 物理学特別講義Ⅰ	1・2 通		1								1
	医理工原子核 物理学特別講義Ⅱ	1・2 通		1								1
	医理工応用物理学	1・2 後		2		1						
	医用放射線計測学	1後		2					2			
	医療情報理工学特論	1後		1								2
	医理工画像工学	1・2 後		2								1
	医理工加速器科学	1・2 前		2								1
	医理工応用放射線科学	1後		2								2
	Medical Physics School	1・2 前		2		3	1	1	3			1
	放射線生物学	1前		1				1				1
	医理工連携 放射線腫瘍学	1後		2		1						1
	基礎放射線 治療物理学	2前		2		1	1		3			
	分子腫瘍病理学	1後		2			1					
	分子腫瘍治療学	2後		2			1					
	分子プローブ学	1後		2		1	1		1			
	放射線診断・核 医学応用物理学	1後		2		1						
Radiation Biology School	1・2 後		2		1		1				1	

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。
- その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

〈修士課程〉

(1) ①授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

<p>【共通科目】</p> <ul style="list-style-type: none"> 専任教員の昇任により、「医療機器臨床研究特論」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」に変更。 専任教員の昇任および専任教員の追加により、「総合医理工学研究Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授4」から「教授6」、「講師1」から「講師2」に変更。 専任教員の昇任および専任教員の追加により、「総合医理工学研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授4」から「教授6」、「講師1」から「講師2」に変更。 <p>【必修科目】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教育課程の充実を図るため、「医理工連携画像診断医学」の専任教員等の配置を「兼任・兼任教員6」から「兼任・兼任教員8」に変更。 教員辞職及び担当科目の追加により、「医理工連携機能画像診断学」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「兼任・兼任教員2」から「兼任・兼任教員1」に変更。 <p>【選択科目】</p> <ul style="list-style-type: none"> 専任教員の新規採用により、「医理工基礎物理学」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「兼任・兼任教員1」から「兼任・兼任教員0」に変更。 専任教員の新規採用により、「医理工応用物理学」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「兼任・兼任教員1」から「兼任・兼任教員0」に変更。 専任教員の昇任により、「Medical Physics School」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授3」、「准教授2」から「准教授1」、「講師0」から「講師1」、「助教4」から「助教3」に変更。 教員の昇任により、「放射線生物学」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」、「助教1」から「助教0」に変更。 教員の昇任により、「医理工連携放射線腫瘍学」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」、「准教授1」から「准教授0」に変更。 専任教員の追加により、「分子プローブ学」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」、「講師0」から「講師1」に変更。 専任教員の昇任により、「Radiation Biology School」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」、「助教1」から「助教0」に変更。
--

【平成30年度】

<p>【共通科目】</p> <ul style="list-style-type: none"> 専任教員の他学院への異動により、「総合医理工学研究Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授2」に変更。 専任教員の他学院への異動により、「総合医理工学研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授2」に変更。 <p>【必修科目】</p> <ul style="list-style-type: none"> 専任教員の他学院への異動により、兼任教員に切り替わることから、「粒子線医学物理学」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」、「兼任・兼任教員0」から「兼任・兼任教員1」に変更。 教育体制の見直しにより、「医理工連携画像診断医学」の専任教員等の配置を「兼任・兼任教員8」から「兼任・兼任教員7」に変更。 <p>【選択科目】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教育体制の見直しにより、「医理工画像解剖学」の専任教員等の配置を「兼任・兼任教員2」から「兼任・兼任教員3」に変更。 教育体制の見直しにより、「医理工学研究概論」の専任教員等の配置を「兼任・兼任教員3」から「兼任・兼任教員6」に変更。 教育体制の見直しにより、「医理工実験・研究計画法」の教員の配置を「兼任・兼任教員7」から「兼任・兼任教員6」に変更。 専任教員の追加により、「医理工連携放射線防護学」の専任教員の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。 専任教員の他学院への異動により、兼任教員に切り替わることから、「Medical Physics School」の教員の配置を「准教授1」から「准教授0」、「兼任・兼任教員1」から「兼任・兼任教員2」に変更。 専任教員の追加により、「放射線生物学」の専任教員の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。 専任教員の他学院への異動により、兼任教員に切り替わることから、「基礎放射線治療物理学」の教員の配置を「准教授1」から「准教授0」、「兼任・兼任教員0」から「兼任・兼任教員1」に変更。 教育課程の充実を図るため、「Radiation Biology School」の配当年次を「1・2後」から「1・2前」に変更。

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
11 科目	30 科目	0 科目	41 科目	11 科目 [0]	30 科目 [0]	0 科目 [0]	41 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

〈修士課程〉

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{41} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

2 授業科目の概要

<大学院医理工学院 医理工学専攻（博士後期課程）>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
必修科目	先端医理工学研究Ⅰ	1～3通	2			4	3	1	4		
	先端医理工学研究Ⅱ	1～3通	8			4	3	1	4		
自由選択科目	臨床医学物理学実習(品質管理)	1・2・3通		4		1			2		2
	臨床医学物理学実習(陽子線・画像誘導)	1・2・3通		4			1		3		1
	臨床医学物理学実習(治療計画)	1・2・3通		4		1			3		1

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
必修科目	先端医理工学研究Ⅰ	1～3通	2			6	2	2	4		
	先端医理工学研究Ⅱ	1～3通	8			6	2	2	4		
自由選択科目	臨床医学物理学実習(品質管理)	1・2・3通			4	1			2		2
	臨床医学物理学実習(陽子線・画像誘導)	1・2・3通			4				3		2
	臨床医学物理学実習(治療計画)	1・2・3通			4	1			3		1

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
必修科目	先端医理工学研究Ⅰ	1～3通	2			6	3	2	4		
	先端医理工学研究Ⅱ	1～3通	8			6	3	2	4		
自由選択科目	臨床医学物理学実習(品質管理)	1・2・3通		4	1				2		2
	臨床医学物理学実習(陽子線・画像誘導)	1・2・3通		4		1		3			1
	臨床医学物理学実習(治療計画)	1・2・3通		4	1				3		1

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。
 その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
 ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。
 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

〈博士後期課程〉

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

<p>【必修科目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専任教員の昇任および専任教員の追加により、「先端医理工学研究Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授4」から「教授6」、「講師1」から「講師2」に変更。 ・専任教員の昇任および専任教員の追加により、「先端医理工学研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授4」から「教授6」、「講師1」から「講師2」に変更。
--

【平成30年度】

<p>【必修科目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専任教員の他学院への異動により、「先端医理工学研究Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授2」に変更。 ・専任教員の他学院への異動により、「先端医理工学研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授2」に変更。 <p>【自由選択科目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専任教員の他学院への異動により、兼担教員に切り替わることから、「臨床医学物理学実習（陽子線・画像誘導）」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」、「兼任・兼担教員1」から「兼任・兼担教員2」に変更。

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。
 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
2 科目	0 科目	3 科目	5 科目	2 科目 [0]	0 科目 [0]	3 科目 [0]	5 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

〈博士後期課程〉

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{5} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	北海道大学全体			
	校舎敷地	923,867 m ²	0 m ²	0 m ²	923,867 m ²				
	運動場用地	175,488 m ²	0 m ²	0 m ²	175,488 m ²				
	小 計	1,099,355 m ²	0 m ²	0 m ²	1,099,355 m ²				
	そ の 他	659,049,323 m ²	0 m ²	0 m ²	659,049,323 m ²				
	合 計	660,148,678 m ²	0 m ²	0 m ²	660,148,678 m ²				
(2) 校 舎	専 用	625,868,776,494 m ²	0 m ²	0 m ²	625,868,776,494 m ²	北海道大学全体 計算誤りによる修正 (30)			
	(625,868,776,494 m ²)	(0 m ²)	(0 m ²)	(625,868,776,494 m ²)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	うち講義室7室, 演習 室77室, 実験実習室14 室は共用部分			
	8室	77室	16室	室 (補助職員 人)	室 (補助職員 人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			専任教員の他学院への 異動により1室減(30)			
	医理工学院医理工学専攻		15 14 室						
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機 械 ・ 器 具	標 本	学院単位での特定が不 能なため, 北海道大学 全体の数 除却及び新規購入による 修正(30)	
		〔うち外国書〕 冊	〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕					点
	医理工学院 医理工学専攻	3,838,813 3,740,130 -〔1,788,390〕 〔1,748,330〕	84,673 85,135 -〔37,105〕 〔36,991〕	21,399 22,120 -〔20,170〕 〔20,825〕	89,444 90,076	0	0		
		3,838,813 3,740,130 -〔1,788,390〕 〔1,748,330〕	84,673 85,135 -〔37,105〕 〔36,991〕	21,399 22,120 -〔20,170〕 〔20,825〕	(89,444) (90,076)	(0)	(0)		
	計	3,838,813 3,740,130 -〔1,788,390〕 〔1,748,330〕	84,673 85,135 -〔37,105〕 〔36,991〕	21,399 22,120 -〔20,170〕 〔20,825〕	89,444 90,076	0	0		
		3,838,813 3,740,130 -〔1,788,390〕 〔1,748,330〕	84,673 85,135 -〔37,105〕 〔36,991〕	21,399 22,120 -〔20,170〕 〔20,825〕	(89,444) (90,076)	(0)	(0)		
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		同上		
	33,542 m ²		2,224 席		425 万冊				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					同上	
	7,429 m ²		テニスコート(11), 野球場(3), フール(2), ホッケー・ハンドボール場(1), 陸上競技場 (1), サッカー・ラグビー場(1), アメリカンフットボール・ラグビー場(1), スポーツトレーニング センター(1), 武道場(1), 剣道場(1), 弓道場(1), 洋弓場(1), ライフル射撃 (1), ボート艇庫(1), ヨット艇庫(1), 馬場(1), 山小屋(5)						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費による
		教員1人当たり研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円		
	学生1人当 り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	国立大学法人 北海道大学							備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年度	所在地	
文学部						1.04	S25	札幌市北区北10条西7丁目	
人文学科	4	185		740	学士(文学)	1.04	H7		
教育学部						1.07	S24	札幌市北区北11条西7丁目	
教育学科	4	50	③10	220	学士(教育学)	1.07	S24		
法学部						1.05	S28	札幌市北区北9条西7丁目	
法学課程	4	200	②10/③10	850	学士(法学)	1.05	S49		
経済学部						1.06	S28	札幌市北区北9条西7丁目	
経済学科	4	100		400	学士(経済学)	1.07	S28		
経営学科	4	90		360	学士(経営学)	1.06	S41		
理学部						1.03	S24	札幌市北区北10条西8丁目	
数学科	4	50		200	学士(理学)	1.04	H7		
物理学科	4	35		140	学士(理学)	1.02	H6		
化学科	4	75		300	学士(理学)	1.03	H7		
生物科学科	4	80		320	学士(理学)	1.04	H5		
地球惑星科学科	4	60		240	学士(理学)	1.04	H6		
医学部						—	S24		
医学科	6	107	②5	667	学士(医学)	1.00	S24	札幌市北区北15条西7丁目	
保健学科	4	180		720	学士(看護学/保健学)	1.03	H16	札幌市北区北12条西5丁目	
歯学部						0.99	S42	札幌市北区北13条西7丁目	
歯学科	6	53		318	学士(歯学)	0.99	S42		
薬学部						—	S40	札幌市北区北12条西6丁目	
薬科学科	4	50		200	学士(薬科学)	1.03	H18		
薬学科	6	30		180	学士(薬学)	1.03	H18		
工学部			③10			1.04	S24	札幌市北区北13条西8丁目	
応用理工系学科	4	160		640	学士(工学)	1.05	H17		
情報工学科	4	180		720	学士(工学)	1.04	H17		
機械知能工学科	4	120		480	学士(工学)	1.06	H17		
環境社会工学科	4	210		840	学士(工学)	1.03	H17		
農学部						1.04	S24	札幌市北区北9条西9丁目	
生物資源科学科	4	36		144	学士(農学)	1.04	H4		
応用生命科学科	4	30		120	学士(農学)	1.03	H4		
生物機能化学科	4	35		140	学士(農学)	1.04	H4		
森林科学科	4	36		144	学士(農学)	1.04	H4		
畜産科学科	4	23		92	学士(農学)	1.04	H4		
生物環境工学科	4	30		120	学士(農学)	1.03	S24		
農業経済学科	4	25		100	学士(農学)	1.04	S24		
獣医学部						1.03	S27	札幌市北区北18条西9丁目	
共同獣医学課程	6	40		240	学士(獣医学)	1.03	H24		

編入学定員は4学科共通であるため、収容定員には含めていない

水産学部						1.01	S24	函館市港町3丁目1番1号	
海洋生物科学科		4	54	216	学士(水産学)	1.01	H18		
海洋資源科学科		4	53	212	学士(水産学)	1.01	H18		
増殖生命科学科		4	54	216	学士(水産学)	1.01	H18		
資源機能化学科		4	54	216	学士(水産学)	1.01	H18		
文学研究科							S28	札幌市北区北10条西7丁目	
思想文化学専攻	M	2	14	28	修士(文学)	0.53	H12		
	D	3	6	18	博士(文学)	0.82	H12		
歴史地域文化学専攻	M	2	28	56	修士(文学/学術)	0.80	H12		
	D	3	11	33	博士(文学/学術)	0.81	H12		
言語文学専攻	M	2	29	58	修士(文学)	0.98	H12		
	D	3	11	33	博士(文学)	1.08	H12		
人間システム科学専攻	M	2	19	38	修士(文学)	1.65	H12		
	D	3	7	21	博士(文学)	1.04	H12		
法学研究科							S28	札幌市北区北9条西7丁目	
法学政治学専攻	M	2	20	40	修士(法学)	0.97	H12		
	D	3	15	45	博士(法学)	0.35	H12		
法律実務専攻	P	3	50	150	法務博士(専門職)	0.71	H16		
医学研究科							S30	札幌市北区北15条西7丁目	平成29年より学生募集停止
医科学専攻	M	2	—	—	修士(医科学)	—	H14		
医学専攻	D	4	—	—	博士(医学)	—	H19		
情報科学研究科							H16	札幌市北区北14条西9丁目	
情報理工学専攻	M	2	48	96	修士(工学/情報科学)	1.15	H26		
	D	3	12	36	博士(工学/情報科学)	0.63	H26		
情報ソフトウェア専攻	M	2	39	78	修士(工学/情報科学)	1.21	H16		
	D	3	8	24	博士(工学/情報科学)	0.95	H16		
生命人間情報科学専攻	M	2	33	66	修士(工学/情報科学)	0.96	H16		
	D	3	6	18	博士(工学/情報科学)	0.61	H16		
ネットワーク専攻	M	2	30	60	修士(工学/情報科学)	1.21	H16		
	D	3	8	24	博士(工学/情報科学)	1.20	H16		
システム情報科学専攻	M	2	27	54	修士(工学/情報科学)	1.23	H16		
	D	3	8	24	博士(工学/情報科学)	1.37	H16		
水産科学院							H17	函館市港町3丁目1番1号	
海洋生物資源科学専攻	M	2	43	86	修士(水産科学)	1.11	H17		
	D	3	17	51	博士(水産科学)	0.31	H17		
海洋応用生命科学専攻	M	2	47	94	修士(水産科学)	1.29	H17		
	D	3	18	54	博士(水産科学)	0.58	H17		

環境科学院							H17	札幌市北区北10条西5丁目
環境起学専攻	M	2	44	88	修士(環境科学)	0.74	H17	
	D	3	15	45	博士(環境科学)	0.50	H17	
地球圏科学専攻	M	2	35	70	修士(環境科学)	1.00	H17	
	D	3	14	42	博士(環境科学)	0.40	H17	
生物圏科学専攻	M	2	52	104	修士(環境科学)	1.00	H17	
	D	3	23	69	博士(環境科学)	0.59	H17	
環境物質科学専攻	M	2	28	56	修士(環境科学)	1.05	H17	
	D	3	11	33	博士(環境科学)	0.57	H17	
理学院							H18	札幌市北区北10条西8丁目
数学専攻	M	2	46	92	修士(理学)	0.74	H18	
	D	3	17	51	博士(理学)	0.54	H18	
物性物理学専攻	M	2	24	48	修士(理学)	0.87	H18	
	D	3	10	30	博士(理学)	0.66	H18	
宇宙理学専攻	M	2	20	40	修士(理学)	0.87	H18	
	D	3	9	27	博士(理学)	1.03	H18	
自然史科学専攻	M	2	39	78	修士(理学)	1.29	H18	
	D	3	20	60	博士(理学)	0.80	H18	
農学院							H18	札幌市北区北9条西9丁目
共生基盤学専攻	M	2	40	80	修士(農学)	0.97	H18	
	D	3	8	24	博士(農学)	1.24	H18	
生物資源科学専攻	M	2	42	84	修士(農学)	1.18	H18	
	D	3	14	42	博士(農学)	0.59	H18	
応用生物科学専攻	M	2	18	36	修士(農学)	1.85	H18	
	D	3	6	18	博士(農学)	0.94	H18	
環境資源学専攻	M	2	42	84	修士(農学)	1.29	H18	
	D	3	14	42	博士(農学)	0.56	H18	
生命科学院							H18	札幌市北区北10条西8丁目
生命科学専攻	M	2	116	232	修士(生命科学/農科学)	0.99	H18	
	D	3	38	114	博士(生命科学/農科学)	0.82	H18	
臨床薬学専攻	D	4	6	24	博士(臨床薬学)	1.37	H24	
リハビリ専攻	M	2	16	32	修士(リハビリテーション科学)	1.50	H30	
	D	3	6	18	博士(リハビリテーション科学)	0.83	H30	
教育学院							H19	札幌市北区北11条西7丁目
教育学専攻	M	2	45	90	修士(教育学)	0.99	H19	
	D	3	21	63	博士(教育学)	0.69	H19	
国際広報・IT・観光学院							H19	札幌市北区北17条西8丁目
国際広報・IT専攻	M	2	27	54	修士(国際広報・IT学)	1.12	H19	
	D	3	14	42	博士(国際広報・IT学)	0.47	H19	
観光創造専攻	M	2	15	30	修士(観光学)	1.09	H19	
	D	3	3	9	博士(観光学)	0.99	H19	
保健科学院							H20	札幌市北区北12条西5丁目
保健科学専攻	M	2	40	80	修士(保健科学/看護学)	1.14	H20	
	D	3	10	30	博士(保健科学/看護学)	0.93	H22	

工学院							H22	札幌市北区北13条西8丁目	
応用物理学専攻	M	2	33	66	修士(工学)	1.11	H22		
	D	3	9	27	博士(工学)	0.77	H22		
材料科学専攻	M	2	39	78	修士(工学)	1.11	H22		
	D	3	7	21	博士(工学)	0.80	H22		
機械宇宙工学専攻	M	2	27	54	修士(工学)	1.21	H22		
	D	3	5	15	博士(工学)	0.53	H22		
人間機械システム工学専攻	M	2	26	52	修士(工学)	1.20	H22		
	D	3	5	15	博士(工学)	0.46	H22		
IT社会-環境システム専攻	M	2	26	52	修士(工学)	1.19	H22		
	D	3	5	15	博士(工学)	1.00	H22		
量子理工学専攻	M	2	20	40	修士(工学)	1.35	H22		
	D	3	5	15	博士(工学)	0.60	H22		
環境フィールド工学専攻	M	2	24	48	修士(工学)	1.22	H22		
	D	3	6	18	博士(工学)	0.88	H22		
北方圏環境政策工学専攻	M	2	26	52	修士(工学)	1.09	H22		
	D	3	7	21	博士(工学)	0.80	H22		
建設都市空間システム専攻	M	2	22	44	修士(工学)	1.13	H22		
	D	3	5	15	博士(工学)	1.00	H22		
空間性能システム専攻	M	2	27	54	修士(工学)	0.81	H22		
	D	3	5	15	博士(工学)	0.53	H22		
環境創生工学専攻	M	2	28	56	修士(工学)	1.21	H22		
	D	3	5	15	博士(工学)	0.53	H22		
環境循環システム専攻	M	2	18	36	修士(工学)	1.27	H22		
	D	3	5	15	博士(工学)	2.00	H22		
共同資源工学専攻	M	2	10	20	修士(工学)	1.35	H29		
総合化学院							H22	札幌市北区北13条西8丁目	
総合化学専攻	M	2	129	258	修士(総合化学)	1.18	H22		
	D	3	38	114	博士(理学/工学/総合化学)	1.10	H22		
経済学院							S28	札幌市北区北9条西7丁目	平成29年4月名称変更
現代経済経営専攻	M	2	35	70	修士(経済学/経営学)	1.31	H12		
	D	3	8	24	博士(経済学/経営学)	0.86	H12		
会計情報専攻	P	2	20	40	会計修士(専門職)	1.05	H17		
医学院							H29	札幌市北区北15条西7丁目	
医科学専攻	M	2	20	40	修士(医科学/公衆衛生学)	1.55	H29		
医学専攻	D	4	90	360	博士(医学)	1.02	H29		
歯学院							S49	札幌市北区北13条西7丁目	平成29年4月名称変更
口腔医学専攻	D	4	40	160	博士(歯学)	0.82	H12		
獣医学院							S28	札幌市北区北18条西9丁目	平成29年4月名称変更
獣医学専攻	D	4	16	64	博士(獣医学)	0.97	H7		
医理工学院							H29	札幌市北区北15条西7丁目	
医理工学専攻	M	2	12	24	修士(医理工学)	1.12	H29		
	D	3	5	15	博士(医理工学)	1.30	H29		
国際感染症学院							H29	札幌市北区北18条西9丁目	
感染症学専攻	D	4	12	48	博士(感染症学/獣医学)	1.24	H29		

国際食資源学院							H29	札幌市北区北9条西9丁目
国際食資源学専攻	M	2	15		30	修士(食資源学)	1.09	H29
公共政策学教育部								H17
公共政策学専攻	P	2	30		60	公共政策学修士(専門員)	1.19	H17

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等については, 必ず記入するとともに, 下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「一」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。
 - ・構成大学毎に記入してください。

5 教員組織の状況

<大学院医理工学院 医理工学専攻（修士課程）>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】			【平成29年度】			【平成30年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 担当授業科目名
専	教授	白土博樹 <平成29年4月> 医理工学連携総論 総合医理工学研究Ⅰ 総合医理工学研究Ⅱ Medical Physics School Radiation Biology School	専	教授	白土博樹 <平成29年4月> 医理工学連携総論 総合医理工学研究Ⅰ 総合医理工学研究Ⅱ Medical Physics School Radiation Biology School	専	教授	白土博樹 <平成29年4月> 医理工学連携総論 総合医理工学研究Ⅰ 総合医理工学研究Ⅱ Medical Physics School Radiation Biology School
専	教授	加藤千恵次 <平成29年4月> 医療機器開発特論 総合医理工学研究Ⅰ 総合医理工学研究Ⅱ 放射線診断・核医学基礎物理学 放射線診断・核医学応用物理学	専	教授	加藤千恵次 <平成29年4月> 医療機器開発特論 総合医理工学研究Ⅰ 総合医理工学研究Ⅱ 医理工連携機能画像診断学 放射線診断・核医学基礎物理学 放射線診断・核医学応用物理学	専	教授	加藤千恵次 <平成29年4月> 医療機器開発特論 総合医理工学研究Ⅰ 総合医理工学研究Ⅱ 医理工連携機能画像診断学 放射線診断・核医学基礎物理学 放射線診断・核医学応用物理学
専	教授	久下裕司 <平成29年4月> 医療機器開発特論 総合医理工学研究Ⅰ 総合医理工学研究Ⅱ 医理工学研究概論 医理工連携放射線防護学 分子プローブ学	専	教授	久下裕司 <平成29年4月> 医療機器開発特論 総合医理工学研究Ⅰ 総合医理工学研究Ⅱ 医理工学研究概論 医理工連携放射線防護学 分子プローブ学	専	教授	久下裕司 <平成29年4月> 医療機器開発特論 総合医理工学研究Ⅰ 総合医理工学研究Ⅱ 医理工学研究概論 医理工連携放射線防護学 分子プローブ学
専	教授	石川正純 <平成29年4月> 医療機器開発特論 総合医理工学研究Ⅰ 総合医理工学研究Ⅱ 治療医学物理学 Medical Physics School 基礎放射線治療物理学	専	教授	石川正純 <平成29年4月> 医療機器開発特論 総合医理工学研究Ⅰ 総合医理工学研究Ⅱ 治療医学物理学 Medical Physics School 基礎放射線治療物理学	専	教授	石川正純 <平成29年4月> 医療機器開発特論 総合医理工学研究Ⅰ 総合医理工学研究Ⅱ 治療医学物理学 Medical Physics School 基礎放射線治療物理学
専	准教授	東野史裕 <平成29年4月> 総合医理工学研究Ⅰ 総合医理工学研究Ⅱ 分子腫瘍病理学 分子腫瘍治療学	専	准教授	東野史裕 <平成29年4月> 総合医理工学研究Ⅰ 総合医理工学研究Ⅱ 分子腫瘍病理学 分子腫瘍治療学	専	准教授	東野史裕 <平成29年4月> 総合医理工学研究Ⅰ 総合医理工学研究Ⅱ 分子腫瘍病理学 分子腫瘍治療学
専	准教授	清水伸一 <平成29年4月> 医療機器臨床研究特論 総合医理工学研究Ⅰ 総合医理工学研究Ⅱ Medical Physics School 医理工連携放射線腫瘍学	専	教授	清水伸一 <平成29年4月> 医療機器臨床研究特論 総合医理工学研究Ⅰ 総合医理工学研究Ⅱ Medical Physics School 医理工連携放射線腫瘍学	専	教授	清水伸一 <平成29年4月> 医療機器臨床研究特論 総合医理工学研究Ⅰ 総合医理工学研究Ⅱ Medical Physics School 医理工連携放射線腫瘍学
			専	教授	合川正幸 <平成29年4月> 総合医理工学研究Ⅰ 総合医理工学研究Ⅱ 医理工基礎物理学 医理工応用物理学	専	教授	合川正幸 <平成29年4月> 総合医理工学研究Ⅰ 総合医理工学研究Ⅱ 医理工基礎物理学 医理工応用物理学
専	准教授	松浦妙子 <平成29年4月> 総合医理工学研究Ⅰ 総合医理工学研究Ⅱ 粒子線医学物理学 Medical Physics School 基礎放射線治療物理学	専	准教授	松浦妙子 <平成29年4月> 総合医理工学研究Ⅰ 総合医理工学研究Ⅱ 粒子線医学物理学 Medical Physics School 基礎放射線治療物理学			
			専	准教授	安井博宣 <平成29年4月> 総合医理工学研究Ⅰ 総合医理工学研究Ⅱ 分子プローブ学	専	准教授	安井博宣 <平成29年4月> 総合医理工学研究Ⅰ 総合医理工学研究Ⅱ 医理工連携放射線防護学 放射線生物学 分子プローブ学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	講師	タキンキン <平成29年4月> 総合医理工学研究Ⅰ 総合医理工学研究Ⅱ 医理工連携画像診断医学 医理工画像解剖学
専	助教	鈴木隆介 <平成29年4月> 総合医理工学研究Ⅰ 総合医理工学研究Ⅱ 情報プログラミング特論 Medical Physics School 基礎放射線治療物理学
専	助教	Jin-Min Nam <平成29年4月> 総合医理工学研究Ⅰ 総合医理工学研究Ⅱ Medical Physics School 放射線生物学 Radiation Biology School
専	助教	宮本直樹 <平成29年4月> 総合医理工学研究Ⅰ 総合医理工学研究Ⅱ 医用放射線計測学 Medical Physics School 基礎放射線治療物理学
専	助教	高尾聖心 <平成29年4月> 総合医理工学研究Ⅰ 総合医理工学研究Ⅱ 粒子線医学物理学 医用放射線計測学 Medical Physics School 基礎放射線治療物理学
兼任	教授	古坂道弘 <平成29年4月> 医理工加速器科学
兼任	教授	玉木長良 <平成29年4月> 医理工連携機能画像診断学
兼任	教授	梅垣菊男 <平成29年4月> 医療機器開発特論 医理工応用放射線科学 Medical Physics School
兼任	教授	有川二郎 <平成29年4月> 医理工学研究概論
兼任	教授	岩永敏彦 <平成29年4月> 医理工学研究概論
兼任	教授	吉岡充弘 <平成29年4月> 医理工実験・研究計画法
兼任	教授	大滝純司 <平成29年4月> 医理工実験・研究計画法
兼任	教授	佐藤典宏 <平成29年4月> 医理工実験・研究計画法
兼任	教授	渡邊雅彦 <平成29年4月> 医理工学研究概論
兼任	教授	鈴木久男 <平成29年4月> 医理工基礎物理学 医理工応用物理学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	講師	タキンキン <平成29年4月> 総合医理工学研究Ⅰ 総合医理工学研究Ⅱ 医理工連携画像診断医学 医理工画像解剖学
専	助教	鈴木隆介 <平成29年4月> 総合医理工学研究Ⅰ 総合医理工学研究Ⅱ 情報プログラミング特論 Medical Physics School 基礎放射線治療物理学
専	講師	Jin-Min Nam <平成29年4月> 総合医理工学研究Ⅰ 総合医理工学研究Ⅱ Medical Physics School 放射線生物学 Radiation Biology School
専	助教	宮本直樹 <平成29年4月> 総合医理工学研究Ⅰ 総合医理工学研究Ⅱ 医用放射線計測学 Medical Physics School 基礎放射線治療物理学
専	助教	高尾聖心 <平成29年4月> 総合医理工学研究Ⅰ 総合医理工学研究Ⅱ 粒子線医学物理学 医用放射線計測学 Medical Physics School 基礎放射線治療物理学
専	助教	東川桂 <平成29年4月> 総合医理工学研究Ⅰ 総合医理工学研究Ⅱ 分子プローブ学
兼任	教授	古坂道弘 <平成29年4月> 医理工加速器科学
兼任	教授	梅垣菊男 <平成29年4月> 医療機器開発特論 医理工応用放射線科学 Medical Physics School
兼任	教授	有川二郎 <平成29年4月> 医理工学研究概論
兼任	教授	岩永敏彦 <平成29年4月> 医理工学研究概論
兼任	教授	吉岡充弘 <平成29年4月> 医理工実験・研究計画法
兼任	教授	大滝純司 <平成29年4月> 医理工実験・研究計画法
兼任	教授	佐藤典宏 <平成29年4月> 医理工実験・研究計画法
兼任	教授	渡邊雅彦 <平成29年4月> 医理工学研究概論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	講師	タキンキン <平成29年4月> 総合医理工学研究Ⅰ 総合医理工学研究Ⅱ 医理工連携画像診断医学 医理工画像解剖学
専	助教	鈴木隆介 <平成29年4月> 総合医理工学研究Ⅰ 総合医理工学研究Ⅱ 情報プログラミング特論 Medical Physics School 基礎放射線治療物理学
専	講師	Jin-Min Nam <平成29年4月> 総合医理工学研究Ⅰ 総合医理工学研究Ⅱ Medical Physics School 放射線生物学 Radiation Biology School
専	助教	宮本直樹 <平成29年4月> 総合医理工学研究Ⅰ 総合医理工学研究Ⅱ 医用放射線計測学 Medical Physics School 基礎放射線治療物理学
専	助教	高尾聖心 <平成29年4月> 総合医理工学研究Ⅰ 総合医理工学研究Ⅱ 粒子線医学物理学 医用放射線計測学 Medical Physics School 基礎放射線治療物理学
専	助教	東川桂 <平成29年4月> 総合医理工学研究Ⅰ 総合医理工学研究Ⅱ 分子プローブ学
兼任	教授	梅垣菊男 <平成29年4月> 医療機器開発特論 医理工応用放射線科学 Medical Physics School
兼任	教授	有川二郎 <平成29年4月> 医理工学研究概論
兼任	教授	吉岡充弘 <平成29年4月> 医理工実験・研究計画法
兼任	教授	大滝純司 <平成29年4月> 医理工実験・研究計画法
兼任	教授	佐藤典宏 <平成29年4月> 医理工実験・研究計画法

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	小崎 完 <平成29年4月> 医理工放射線物理学
兼任	教授	富岡 智 <平成29年4月> 医理工画像工学
兼任	教授	田中 伸哉 <平成29年4月> 医理工実験・研究計画法
兼任	准教授	遠藤 晃 <平成29年4月> 医療情報理工学特論
兼任	准教授	藤吉 亮子 <平成29年4月> 医理工応用放射線科学
兼任	准教授	加美山 隆 <平成29年4月> 医理工放射線物理学
兼任	准教授	工藤 與亮 <平成29年4月> 医理工連携画像診断医学 医理工画像解剖学
兼任	准教授	東藤 正浩 <平成29年4月> 医理工人間システム工学 <small>医理工バイオメディカルエンジニアリングI 医理工バイオメディカルエンジニアリングII</small>
兼任	准教授	木村 真明 <平成29年4月> 医理工原子核基礎論I 医理工原子核基礎論II <small>医理工原子核物理学特別講義I 医理工原子核物理学特別講義II</small>
兼任	准教授	伊藤 陽一 <平成29年4月> 医理工実験・研究計画法 医理工統計学
兼任	准教授	橋本 孝之 <平成29年4月> 医療機器臨床研究特論 医理工連携放射線防護学 医理工連携放射線腫瘍学
兼任	講師	真鍋 徳子 <平成29年4月> 医理工連携画像診断医学 医理工連携機能画像診断学
兼任	助教	kenneth Lee Sutherland <平成29年4月> 情報プログラミング特論
兼任	助教	作原 祐介 <平成29年4月> 医理工連携画像診断医学
兼任	助教	阿保 大介 <平成29年4月> 医理工連携画像診断医学 医理工画像解剖学
兼任	助教	加藤 扶美 <平成29年4月> 医理工連携画像診断医学
兼任	助教	橋本 あきら <平成29年4月> 医理工実験・研究計画法
兼任	助教	平田 雄一 <平成29年4月> 医療機器開発特論 <small>医理工画像診断学・法医学・リスクアセスメント特論</small>
兼任	助教	安田 耕一 <平成29年4月> 医療機器臨床研究特論 放射線生物学 Radiation Biology School

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	小崎 完 <平成29年4月> 医理工放射線物理学
兼任	教授	富岡 智 <平成29年4月> 医理工画像工学
兼任	教授	田中 伸哉 <平成29年4月> 医理工実験・研究計画法
兼任	准教授	遠藤 晃 <平成29年4月> 医療情報理工学特論
兼任	准教授	藤吉 亮子 <平成29年4月> 医理工応用放射線科学
兼任	准教授	加美山 隆 <平成29年4月> 医理工放射線物理学
兼任	准教授	工藤 與亮 <平成29年4月> 医理工連携画像診断医学 医理工画像解剖学
兼任	准教授	東藤 正浩 <平成29年4月> 医理工人間システム工学 <small>医理工バイオメディカルエンジニアリングI 医理工バイオメディカルエンジニアリングII</small>
兼任	准教授	木村 真明 <平成29年4月> 医理工原子核基礎論I 医理工原子核基礎論II <small>医理工原子核物理学特別講義I 医理工原子核物理学特別講義II</small>
兼任	准教授	伊藤 陽一 <平成29年4月> 医理工実験・研究計画法 医理工統計学
兼任	准教授	橋本 孝之 <平成29年4月> 医療機器臨床研究特論 医理工連携放射線防護学 医理工連携放射線腫瘍学
兼任	講師	真鍋 徳子 <平成29年4月> 医理工連携画像診断医学 医理工連携機能画像診断学
兼任	助教	kenneth Lee Sutherland <平成29年4月> 情報プログラミング特論
兼任	助教	作原 祐介 <平成29年4月> 医理工連携画像診断医学
兼任	助教	阿保 大介 <平成29年4月> 医理工連携画像診断医学 医理工画像解剖学
兼任	助教	加藤 扶美 <平成29年4月> 医理工連携画像診断医学
兼任	助教	橋本 あきら <平成29年4月> 医理工実験・研究計画法
兼任	助教	平田 雄一 <平成29年4月> 医療機器開発特論 <small>医理工画像診断学・法医学・リスクアセスメント特論</small>
兼任	助教	安田 耕一 <平成29年4月> 医療機器臨床研究特論 放射線生物学 Radiation Biology School

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	小崎 完 <平成29年4月> 医理工放射線物理学
兼任	教授	富岡 智 <平成29年4月> 医理工画像工学
兼任	教授	田中 伸哉 <平成29年4月> 医理工実験・研究計画法
兼任	准教授	遠藤 晃 <平成29年4月> 医療情報理工学特論
兼任	准教授	加美山 隆 <平成29年4月> 医理工放射線物理学
兼任	准教授	工藤 與亮 <平成29年4月> 医理工連携画像診断医学 医理工画像解剖学
兼任	教授	東藤 正浩 <平成30年4月> 医理工人間システム工学 <small>医理工バイオメディカルエンジニアリングI 医理工バイオメディカルエンジニアリングII</small>
兼任	准教授	木村 真明 <平成29年4月> 医理工原子核基礎論I 医理工原子核基礎論II <small>医理工原子核物理学特別講義I 医理工原子核物理学特別講義II</small>
兼任	准教授	橋本 孝之 <平成29年4月> 医療機器臨床研究特論 医理工連携放射線防護学 医理工連携放射線腫瘍学
兼任	講師	真鍋 徳子 <平成29年4月> 医理工連携画像診断医学 医理工連携機能画像診断学
兼任	助教	kenneth Lee Sutherland <平成29年4月> 情報プログラミング特論
兼任	助教	作原 祐介 <平成29年4月> 医理工連携画像診断医学
兼任	助教	阿保 大介 <平成29年4月> 医理工連携画像診断医学
兼任	助教	加藤 扶美 <平成29年4月> 医理工連携画像診断医学
兼任	助教	平田 雄一 <平成29年4月> 医療機器開発特論 <small>医理工画像診断学・法医学・リスクアセスメント特論</small>
兼任	助教	安田 耕一 <平成29年4月> 医療機器臨床研究特論 放射線生物学 Radiation Biology School

〈修士課程〉

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・(専) 加藤千恵次教授 担当授業科目追加 (医理工連携機能画像診断学) (平成29年7月教員審査済)
- ・(専) 清水伸一准教授 教授昇任 (平成28年11月教員審査済)
- ・(専) 合川正幸教授就任 (平成28年11月教員審査済) により、(兼担) 鈴木久男教授を担当外とする。
- ・(専) 安井博宣准教授 就任 (平成29年2月教員審査済)
- ・(専) Jin-Min Nam助教 講師昇任 (平成29年1月教員審査済)
- ・(専) 東川桂助教 就任 (平成28年11月教員審査済)
- ・(兼担) 玉木長良教授 辞任 (後任未定)
- ・(兼担) 神島保教授、(兼担) 藤間憲幸助教、(兼担) 菊池穂香助教就任により、(兼任) 小野寺祐也非常勤講師を担当外とする。
- ・(兼担) 玉腰暁子教授就任により、(兼任) 岸玲子非常勤講師を担当外とする。

【平成30年度】

- ・(専) 松浦妙子准教授他学院への異動のため、(兼担) 准教授に変更。
- ・(専) 安井博宣准教授 担当授業科目追加 (医理工連携放射線防護学、放射線生物学) (平成30年1月教員審査済)
- ・(兼担) 古坂道弘教授就任により、後任として(兼担) 平賀富士男助教が就任。
- ・(兼担) 渡邊雅彦教授を担当外とする。同教員の担当科目 (医理工学研究概論) については、同じ研究分野の教員が担当するため、支障は無い。
- ・(兼担) 秋田弘俊教授就任により、(兼担) 岩永敏彦教授を担当外とする。
- ・(兼担) 藤吉亮子准教授就任により、後任として(兼担) 岡本一将助教が就任。
- ・(兼担) 東藤正浩准教授、教授昇任
- ・(兼担) 伊藤陽一准教授就任により 兼任教員に変更。
- ・(兼担) 阿保大介助教の担当授業科目 (医理工画像解剖学) を削除。同科目については、同じ研究分野の教員が担当するため、支障は無い。
- ・(兼担) 橋本あきら助教を担当外とする。同教員の担当科目 (医理工実験・研究計画法) については、同じ研究分野の教員が担当するため、支障は無い。
- ・(兼担) 神島保教授を担当外とする。同教員の担当科目 (医理工連携画像診断医学) については、同じ研究分野の教員が担当するため、支障は無い。
- ・(兼担) 玉腰暁子教授 担当授業科目追加 (医理工学研究概論)
- ・(兼担) (兼担) 藤間憲幸助教 担当授業科目追加 (医理工画像解剖学)
- ・(兼担) 曾山武士助教、(兼担) 土佐紀子助教、(兼担) 山野暹貴信助教、(兼担) 中村秀樹助手就任。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査 (AC教員審査) を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書 (A C)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度 (平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度) の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導補助教員数
4	3	3
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計（B）	教授	准教授	講師	助教	計（C）
4	3	1	4	12	6	2	2	4	14	6	2	2	4	14
(6)	(3)	(2)	(4)	(15)						[2]	[Δ1]	[1]	[0]	[2]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
12	0	0			13	1	0			13	1	0		
(14)	(1)	(0)								[1]	[1]	[0]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、
完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画（C）}}{\text{設置時の計画（A）}} = \frac{14}{12} = \boxed{116.66} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況（B）}} = \frac{0}{14} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

〈修士課程〉

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
						該当なし	
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)			
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1	准教授	松浦 妙子	必修	総合医理工学研究Ⅰ	①	H30.4.1付けで他学院に異動のため(30)			
			必修	総合医理工学研究Ⅱ	①				
			必修	粒子線医学物理学	②				
			選択	Medical Physics School	②				
			選択	基礎放射線治療物理学	②				
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
1	人	必修	3 科目	必修	2 科目	必修	1 科目	必修	0 科目
		選択	2 科目	選択	0 科目	選択	2 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	5 科目	計	2 科目	計	3 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)			
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
1	人	必修	3 科目	必修	3 科目	必修	0 科目
		選択	2 科目	選択	0 科目	選択	2 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	5 科目	計	3 科目	計	2 科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{1}{12} = \boxed{8.33} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
						該当なし	
合計					後任補充状況の集計		
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

他学院に異動した専任教員が担当していた授業科目については、H30年度は同人が兼任教員としてH29年度に引き続き「粒子線医学物理学」「Medical Physics School」「基礎放射線治療物理学」を担当する。これ以外の科目については、当該退職教員を除いても同じ研究分野を専門とする専任教員が十分にいることから、教育上の支障はない。また、年度ごとに更新するシラバスや時間割に担当教員を掲載することで、学生へ周知をしている。(30)

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

5 教員組織の状況

<大学院医理工学院 医理工学専攻（博士後期課程）>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	白土博樹 <平成29年4月> 先端医理工学研究Ⅰ 先端医理工学研究Ⅱ 臨床医学物理学実習(治療計画)
専	教授	加藤千恵次 <平成29年4月> 先端医理工学研究Ⅰ 先端医理工学研究Ⅱ
専	教授	久下裕司 <平成29年4月> 先端医理工学研究Ⅰ 先端医理工学研究Ⅱ
専	教授	石川正純 <平成29年4月> 先端医理工学研究Ⅰ 先端医理工学研究Ⅱ 臨床医学物理学実習(品質管理)
専	准教授	東野史裕 <平成29年4月> 先端医理工学研究Ⅰ 先端医理工学研究Ⅱ
専	准教授	清水伸一 <平成29年4月> 先端医理工学研究Ⅰ 先端医理工学研究Ⅱ
専	准教授	松浦妙子 <平成29年4月> 先端医理工学研究Ⅰ 先端医理工学研究Ⅱ 臨床医学物理学実習(電子線・画像診断)
専	講師	タキンキン <平成29年4月> 先端医理工学研究Ⅰ 先端医理工学研究Ⅱ
専	助教	鈴木隆介 <平成29年4月> 先端医理工学研究Ⅰ 先端医理工学研究Ⅱ 臨床医学物理学実習(品質管理) 臨床医学物理学実習(電子線・画像診断) 臨床医学物理学実習(治療計画)
専	助教	Jin-Min Nam <平成29年4月> 先端医理工学研究Ⅰ 先端医理工学研究Ⅱ
専	助教	宮本直樹 <平成29年4月> 先端医理工学研究Ⅰ 先端医理工学研究Ⅱ 臨床医学物理学実習(品質管理) 臨床医学物理学実習(電子線・画像診断) 臨床医学物理学実習(治療計画)

【平成29年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	白土博樹 <平成29年4月> 先端医理工学研究Ⅰ 先端医理工学研究Ⅱ 臨床医学物理学実習(治療計画)
専	教授	加藤千恵次 <平成29年4月> 先端医理工学研究Ⅰ 先端医理工学研究Ⅱ
専	教授	久下裕司 <平成29年4月> 先端医理工学研究Ⅰ 先端医理工学研究Ⅱ
専	教授	石川正純 <平成29年4月> 先端医理工学研究Ⅰ 先端医理工学研究Ⅱ 臨床医学物理学実習(品質管理)
専	教授	合川正幸 <平成29年4月> 先端医理工学研究Ⅰ 先端医理工学研究Ⅱ
専	准教授	東野史裕 <平成29年4月> 先端医理工学研究Ⅰ 先端医理工学研究Ⅱ
専	教授	清水伸一 <平成29年4月> 先端医理工学研究Ⅰ 先端医理工学研究Ⅱ
専	准教授	松浦妙子 <平成29年4月> 先端医理工学研究Ⅰ 先端医理工学研究Ⅱ 臨床医学物理学実習(電子線・画像診断)
専	准教授	安井博重 <平成29年4月> 先端医理工学研究Ⅰ 先端医理工学研究Ⅱ
専	講師	タキンキン <平成29年4月> 先端医理工学研究Ⅰ 先端医理工学研究Ⅱ
専	助教	鈴木隆介 <平成29年4月> 先端医理工学研究Ⅰ 先端医理工学研究Ⅱ 臨床医学物理学実習(品質管理) 臨床医学物理学実習(電子線・画像診断) 臨床医学物理学実習(治療計画)
専	講師	Jin-Min Nam <平成29年4月> 先端医理工学研究Ⅰ 先端医理工学研究Ⅱ
専	助教	宮本直樹 <平成29年4月> 先端医理工学研究Ⅰ 先端医理工学研究Ⅱ 臨床医学物理学実習(品質管理) 臨床医学物理学実習(電子線・画像診断) 臨床医学物理学実習(治療計画)

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	白土博樹 <平成29年4月> 先端医理工学研究Ⅰ 先端医理工学研究Ⅱ 臨床医学物理学実習(治療計画)
専	教授	加藤千恵次 <平成29年4月> 先端医理工学研究Ⅰ 先端医理工学研究Ⅱ
専	教授	久下裕司 <平成29年4月> 先端医理工学研究Ⅰ 先端医理工学研究Ⅱ
専	教授	石川正純 <平成29年4月> 先端医理工学研究Ⅰ 先端医理工学研究Ⅱ 臨床医学物理学実習(品質管理)
専	教授	合川正幸 <平成29年4月> 先端医理工学研究Ⅰ 先端医理工学研究Ⅱ
専	准教授	東野史裕 <平成29年4月> 先端医理工学研究Ⅰ 先端医理工学研究Ⅱ
専	教授	清水伸一 <平成29年4月> 先端医理工学研究Ⅰ 先端医理工学研究Ⅱ
専	准教授	安井博重 <平成29年4月> 先端医理工学研究Ⅰ 先端医理工学研究Ⅱ
専	講師	タキンキン <平成29年4月> 先端医理工学研究Ⅰ 先端医理工学研究Ⅱ
専	助教	鈴木隆介 <平成29年4月> 先端医理工学研究Ⅰ 先端医理工学研究Ⅱ 臨床医学物理学実習(品質管理) 臨床医学物理学実習(電子線・画像診断) 臨床医学物理学実習(治療計画)
専	講師	Jin-Min Nam <平成29年4月> 先端医理工学研究Ⅰ 先端医理工学研究Ⅱ
専	助教	宮本直樹 <平成29年4月> 先端医理工学研究Ⅰ 先端医理工学研究Ⅱ 臨床医学物理学実習(品質管理) 臨床医学物理学実習(電子線・画像診断) 臨床医学物理学実習(治療計画)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> 担当授業科目名
専	助教	高尾 聖心 <平成29年4月> 先端医理工学研究Ⅰ 先端医理工学研究Ⅱ <small>臨床医学物理学実習(電子線・画像診断)</small> <small>臨床医学物理学実習(治療計画)</small>	専	助教	高尾 聖心 <平成29年4月> 先端医理工学研究Ⅰ 先端医理工学研究Ⅱ <small>臨床医学物理学実習(電子線・画像診断)</small> <small>臨床医学物理学実習(治療計画)</small>	専	助教	高尾 聖心 <平成29年4月> 先端医理工学研究Ⅰ 先端医理工学研究Ⅱ <small>臨床医学物理学実習(電子線・画像診断)</small> <small>臨床医学物理学実習(治療計画)</small>
			専	助教	東川 桂 <平成29年4月> 先端医理工学研究Ⅰ 先端医理工学研究Ⅱ	専	助教	東川 桂 <平成29年4月> 先端医理工学研究Ⅰ 先端医理工学研究Ⅱ
兼任	助教	kenneth Lee Sutherland <平成29年4月> <small>臨床医学物理学実習(品質管理)</small>	兼任	助教	kenneth Lee Sutherland <平成29年4月> <small>臨床医学物理学実習(品質管理)</small>	兼任	助教	kenneth Lee Sutherland <平成29年4月> <small>臨床医学物理学実習(品質管理)</small>
兼任	助教	牧永 綾乃 <平成29年4月> <small>臨床医学物理学実習(品質管理)</small> <small>臨床医学物理学実習(電子線・画像診断)</small> <small>臨床医学物理学実習(治療計画)</small>	兼任	助教	牧永 綾乃 <平成29年4月> <small>臨床医学物理学実習(品質管理)</small> <small>臨床医学物理学実習(電子線・画像診断)</small> <small>臨床医学物理学実習(治療計画)</small>			
						兼任	准教授	松浦 妙子 <平成30年4月> <small>臨床医学物理学実習(電子線・画像診断)</small>
						兼任	助教	田中 創大 <平成30年4月> <small>臨床医学物理学実習(品質管理)</small> <small>臨床医学物理学実習(電子線・画像診断)</small> <small>臨床医学物理学実習(治療計画)</small>

- (注) ・ 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
 その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
 ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 ・ 専任、兼任、兼任の順に記入してください。
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

〈博士後期課程〉

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・ (専) 合川教授就任 (平成28年11月教員審査済)
- ・ (専) 清水伸一准教授 教授昇任 (平成28年11月教員審査済)
- ・ (専) 安井博宣准教授就任 (平成29年2月教員審査済)
- ・ (専) Jin-Min Nam助教 講師昇任 (平成29年1月教員審査済)
- ・ (専) 東川桂助教就任 (平成28年11月教員審査済)

【平成30年度】

- ・ (専) 松浦妙子准教授他学院への異動のため、(兼担) 准教授に変更。
- ・ (兼担) 牧永綾乃助教を担当外とする。後任に(兼担) 田中創大助教就任。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査 (AC教員審査) を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書 (A C)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度 (平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度) の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導補助教員数
4 名	3 名	3 名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文科省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計（B）	教授	准教授	講師	助教	計（C）
4	3	1	4	12	6	2	2	4	14	6	2	2	4	14
(6)	(3)	(2)	(4)	(15)						[2]	[△1]	[1]	[0]	[2]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
12	0	0			13	1	0			13	1	0		
(14)	(1)	(0)								[1]	[1]	[0]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{14}{12} = \boxed{116.66} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{0}{14} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

〈博士後期課程〉

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
						該当なし	
合計 (D)					後任補充状況の集計 (E)		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
1	准教授	松浦 妙子	必修	先端医理工学研究Ⅰ	①	H30.4.1付けで他学院に異動のため(30)	
			必修	先端医理工学研究Ⅱ	①		
			自由	臨床医学物理学実習(電子線・画像診断)	①		
合計 (F)					後任補充状況の集計 (G)		
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
1	人	必修	2 科目	必修	2 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	1 科目	自由	1 科目	自由	0 科目
		計	3 科目	計	3 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

合計(D)+(F)			後任補充状況の集計(E)+(G)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
1 人	必修	2 科目	必修	2 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	1 科目	自由	1 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	3 科目	計	3 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{1}{12} = \boxed{8.33} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
						該当なし		
合計					後任補充状況の集計			
辞任した教員数	担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
0 人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員について**に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

当該退職教員が担当していた授業科目については、H30年度は同人が兼任教員としてH29年度に引き続き「臨床医学物理学実習(陽子線・画像誘導)」を担当する。これ以外の科目については、当該退職教員を除いても同じ研究分野を専門とする専任教員が十分にいることから、教育上の支障はない。また、年度ごとに更新するシラバスや時間割に担当教員を掲載することで、学生へ周知をしている。(30)

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成29年4月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成30年2月)			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<大学院医理工学院 医理工学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

1. 高等教育推進機構運営委員会高等教育研修専門委員会

① 実施体制

a 委員会の設置状況

高等教育推進機構運営委員会高等教育研修専門委員会

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

平成27年度2回開催，平成28年度1回開催，平成29年度1回開催

c 委員会の審議事項等

教員、ティーチング・アシスタント、ティーチング・フェロー等に係る研修の企画、立案及び実施に関すること
職員に係る研修の企画、立案及び実施並びに研修情報の一元化に関すること
総合入試制度に係る進路支援、修学支援、学習支援、データ分析等に関すること
その他教職員等の研修に関すること

② 実施状況

a 実施内容

本学教職員を対象としたFD・SDの実施

b 実施方法

ワークショップ形式，講義形式，講演会等の本学教職員を対象としたFD・SDの実施

c 開催状況（教員の参加状況含む）

知って活用したい北大の教員支援制度（4/21，北大22名）

メンタルヘルスケア講演会～対学生メンタルヘルスケア編（5/15，北大28名，北大以外14名）

効果的なグループワークのためのファシリテーション入門ワークショップ（5/19，北大11名，北大以外10名）

講演会「『アクティブ・ラーニング時代』の大人数講義法の基本」（5/30，北大46名，北大以外34名）

講演会「授業準備と運営～学習者の認知・心理的側面から～」（6/14，北大15名，北大以外17名）

問いと学習環境を意識した授業づくりの方向性ワークショップ（北大7名，北大以外6名）

第32回北海道大学教育ワークショップ（6/23-24，北大15名，北大以外2名）

メンタルヘルスケア講演会～対教職員メンタルヘルスケア編（6/26，北大39名，北大以外21名）

ルーブリック評価入門ワークショップ（7/5，北大8名，北大以外13名）

講演会「多様な学習動機への対応」（7/21，北大22名，北大以外16名）

講演会「発達障害のある学生の理解と対応」（共催）（8/8，北大43名，北大以外21名）

講演会「円滑な講義・演習のための高等教育における学びのユニバーサルデザイン」(共催) (8/9, 北大18名, 北大以外9名)

講演会「Practical use of IR data, and training researchers in charge of IR」(8/10, 北大21名, 北大以外10名)

授業運営の苦悩～解決策を探る (8/18, 北大5名, 北大以外6名)

Teaching in Englishワークショップ (8/21, 北大13名, 北大以外4名)

北海道FD・SDフォーラム2017 (9/1, 北大35名, 北大以外63名)

シンポジウム「アクティブラーニングは日本の教育を変えるのか」(9/2, 北大17名, 北大以外66名)

Workshop on creating rubrics (9/8, 北大7名)

第33回北海道大学教育ワークショップ (9/14-15, 北大16, 北大以外5名)

アクティブラーニング導入ワークショップ (9/20, 北大7名, 北大以外7名)

ルーブリック評価入門ワークショップ (9/22, 北大12名, 北大以外14名)

講演会「伝わる話し方を心がけて」(10/23, 北大57名, 北大以外10名)

E L M S 講習会～授業でE L M Sを活用する～ (11/10・13, 北大32名)

第34回北海道大学教育ワークショップ (11/17-18, 北大14名, 北大以外1名)

講演会「学習意欲を高め維持するプレゼンテーションの技法」(11/24, 北大45名, 北大以外22名)

Classroom management techniques for classes conducted in English (12/8, 北大12名, 北大以外1名)

シラバスのブラッシュアップ研修 (12/9, 北大4名, 北大以外3名)

求められる学習支援を考える (12/15, 北大8名, 北大以外8名)

英文Eメールライティング研修(フォーマット編) (1/26, 北大14名, 北大以外5名)

英文Eメールライティング研修(表現編) (1/27, 北大16名, 北大以外4名)

英語コミュニケーション研修(リスニング編) (2/16, 北大25名, 北大以外3名)

英語コミュニケーション研修(スピーキング編) (2/17, 北大22名, 北大以外3名)

アクティブラーニング導入ワークショップ (2/21, 北大7名, 北大以外2名)

ルーブリック評価入門ワークショップ (2/22, 北大11名, 北大以外6名)

英語プレゼンテーション研修 (3/6・7, 北大4名)

アカデミック・ライティング研修 (3/14, 北大10名, 北大以外2名)

改めて教育の質保証を検討する (3/15, 北大3名, 北大以外14名)

FD・SD研修企画マネジメント (3/15, 北大8名, 北大以外9名)

北海道地区国立大学法人等初任職員研修 (4/12-14, 北大52名, 北大以外26名)

初任事務職員英語研修 (6/6-7/27, 北大49名)

初任事務職員実地研修 (8/22-9/1, 北大49名)

初任事務職員フォローアップ研修 (11/10, 北大47名)

北海道地区国立大学法人等中堅職員研修 (6/12-14, 北大22名, 北大20以外名)

北海道地区国立大学法人等係長研修 (12/13-15, 北大17名, 北大以外16名)

北海道地区国立大学法人等会計基準研修 (10/11-13, 北大24名, 北大以外15名)

会計実務研修 (7/24-26, 北大15名)

事務職員英会話研修 (5/19-12/15, 北大16名)

事務職員海外語学研修 (ニュージーランド) (10/6-11/19, 北大1名)

事務職員海外語学研修 (カナダ) (10/22-12/21, 北大1名)

事務職員海外インターンシップ (9/30-3/26, 北大1名)

事務職員TOEICスコアアップ研修 (10/17-12/5, 北大15名)

事務職員英会話スキルアップ研修 (10/18-12/6, 北大16名)

事務職員英会話スクール利用研修 (10/2-1/21, 北大17名)

事務職員eラーニング利用研修 (7/1-12/31, 北大81名)

TOEIC-IPテスト (希望者) (2回) (8/28・1/29, 北大83名)

事務職員海外短期集中研修 (2回) (8/21-9/1, 11/13-17, 北大4名)

北海道地区国立大学法人等学生支援担当職員SD研修 (12/14-15, 北大8名, 北大以外12名)

北海道地区学生指導研修会 (8/24-25, 北大10名, 北大以外32名)

教務事務実務研修（11/9-10, 北大18名）

北海道大学における学生対応に関する研修会（2/8, 北大65名）

北海道地区国立大学法人等事務情報化講習会（Access初級編）（7/24-25, 北大16名, 北大8以外名）

北海道地区国立大学法人等アドバイザータレント研修（10/16-17, 北大19名, 北大以外1名）

利用支援課新任担当者実務研修（4/5-7, 北大19名）

附属図書館新任職員SD研修（4/17, 北大11名）

北海道地区大学図書館職員フレッシュ・パーソン・セミナー（9/14-15, 北大7名, 北大以外11名）

北海道地区国立大学法人等施設担当職員研修会（10/12-13, 北大2名, 北大以外14名）

北海道地区国立大学法人等技術職員研修（8/23-25, 北大29名, 北大以外6名）

ユニバーシティ・アドミニストレーター育成講座（9/7-11/14, 北大9名）

「プレゼンテーション」講座（2/14, 北大11名）

メディアトレーニング講座（9/12, 北大31名）

プレスリリース講座（11/21, 北大58名）

北海道地区大学SD研修「大学職員セミナー」（11/6-7, 北大7名, 北大以外27名）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

各FD終了後にアンケートを実施し、参加者の傾向や満足度等を分析し、次回以降の同行事の改善に役立てている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

全学教育科目に係る学生による授業評価アンケートを紙面にて実施している。毎年度、第1学期と第2学期に実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

全学教育科目に係る学生による授業アンケート報告書を作成し、高等教育推進機構のホームページに公表している。

第1学期と第2学期のデータを併せて1年分の結果を教員本人と教員の所属部局長、科目責任者へ通知している。また、アンケートの質問項目に対する回答結果及び学生の自由意見を受けて、各教員や科目責任者に報告書を提出してもらい、提出されたものの中から授業改善への効果があるものや他の教員の参考になる事例等を高等教育推進機構のホームページで公表している。

2. 大学院医学研究院医学教育・国際交流推進センター運営委員会、医学教育・国際交流推進センター会議

（※平成30年4月に大学院医学研究院医学教育推進センターから医学教育・国際交流推進センターに名称変更）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

大学院医学研究院医学教育・国際交流推進センター運営委員会、医学教育・国際交流推進センター会議

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

大学院医学研究院医学教育推進センター運営委員会（H29.7.10, H29.12.13開催）

大学院医学研究院医学教育推進センター会議（H29.5.31, H29.12.27開催）

c 委員会の審議事項等

医学教育の研究開発・企画、立案、実施にかかること

教育の評価システムについての情報収集及び解析に関すること

共用試験についての実施及び管理に関すること

教員のFDについての企画及び実施に関すること

その他医学教育についての研究開発及び推進に関すること

② 実施状況

a 実施内容

初任者対象の、カリキュラムプランニングについてのワークショップ

医学教育の国際認証基準、カリキュラム改革の必要性、新カリキュラムでの臨床実習のスケジュール、診療参加型実習の具体例、学習項目や評価方法、学外実習の準備状況などについて講義

大学院教育、特に研究医養成の推進についてのワークショップ

今後の医学教育と臨床実習後OSCEのトライアルを含む技能評価についての講義

b 実施方法

医学研究科、医学部医学科の教育を担当している者を対象としてワークショップ形式、講義形式、講演会等のFDを実施し、受講証明書を発行した。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

平成29年6月28日（23名）、7月27日（34名）、8月10日～11日（43名）

平成30年2月14日（35名）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

1. の全学FDや専任教員の所属する教員組織におけるFDへの参加を強く推奨するほか、学院の自己点検評価・外部評価等を活用し、明らかになった問題点・課題について、教授会や教務委員会で検討を行い、教育改善に努める

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

各学期末（前期：7月～8月、後期：1月～2月）に実施を予定している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

修了時アンケートの実施結果については、教務委員会において、カリキュラム改定の検討材料として取り扱っている。公開方法等については、今後、検討予定である。

（注）・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

北海道大学大学院医理工学院は、理工学の発展を医学に応用するための新たな学問分野「医理工学」を確立し、研究成果の世界への発信、社会への還元、及び産業の発展への寄与により、健康長寿社会の実現に資するため、理工学と医学の横断的分野の融合教育を専攻全体で組織的に行う体制のもと、量子力学から発展した放射線物理学、又は生体の分子挙動に関する理工学を医学に応用できる研究者、技術者の養成を目的として設置された。

本学院は、理学研究院、保健科学研究院、工学研究院、医学研究院、歯学研究院等の教員が参画することにより、それぞれの専門を活かした分野横断的な教育体制を構築している。平成30年4月には修士課程11名、博士後期課程4名の計15名の学生が入学したが、理工学と医学の融合科目「医理工学連携総論」「医理工実験・研究計画法」や海外一流大学等の協力による「Medical Physics School」「Radiation Biology School」の開講など特色あるカリキュラムを実施し、量子理工学及び分子理工学を医学に役立てるための人材として養成していく。

今後、本学院においては教育上の目的に沿った体系的な教育課程を構築し、適切な教育が実施されているか検証し、改善につなげていくこととする。具体的には、教育実施体制、教育内容・方法、学業の成果、進路・就職状況等の観点から、教育活動及び教育成果の状況について定期的に自己点検・評価を行うとともに、学外者による外部評価を受けることとする。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

未定

b 公表方法

本学院のホームページ上に公開予定（時期未定）

③ 認証評価を受ける計画

本学では、平成27年度に大学評価・学位授与機構が実施する大学機関別認証評価を受審したところであり、平成33年度に次回の認証評価（大学改革支援・学位授与機構が実施）を受審する予定である。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表（予定）の有無 (有 無)

b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 (平成30年 6月 1日)

(注) ・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。

国立大学法人北海道大学高等教育推進機構運営委員会高等教育研修専門委員会内規

(平成 27 年 4 月 1 日制定)

(趣旨)

第 1 条 この内規は、国立大学法人北海道大学高等教育推進機構規程（平成 22 年海大達第 243 号）第 30 条第 3 項の規定に基づき、国立大学法人北海道大学高等教育推進機構運営委員会高等教育研修専門委員会（以下「委員会」という。）の組織及び運営について定めるものとする。

(審議事項)

第 2 条 委員会は、次に掲げる事項について審議する。

- (1) 教員，ティーチング・アシスタント，ティーチング・フェロー等に係る研修の企画，立案及び実施に関する事。
- (2) 職員に係る研修の企画，立案及び実施並びに研修情報の一元化に関する事。
- (3) 総合入試制度に係る進路支援，修学支援，学習支援，データ分析等に関する事。
- (4) その他教職員等の研修に関する事。

(組織)

第 3 条 委員会は、次に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 高等教育研修センター長（第 5 条において「センター長」という。）
 - (2) 高等教育研修センター副センター長（第 5 条において「副センター長」という。）
 - (3) 文学部，教育学部，法学部，経済学部，文学研究科，法学研究科，教育学院，国際広報メディア・観光学院，経済学院及び公共政策学教育部の教授又は准教授のうちから 2 名
 - (4) 理学部，工学部，農学部，水産学部，情報科学研究科，水産科学院，環境科学院，理学院，農学院，生命科学院，工学院，総合化学院及び国際食資源学院の教授又は准教授のうちから 2 名
 - (5) 医学部，歯学部，薬学部，獣医学部，保健科学院，医学院，歯学院，獣医学院，医理工学院及び国際感染症学院の教授又は准教授のうちから 2 名
 - (6) 高等教育推進機構の教授又は准教授のうちから 若干名
 - (7) 総務企画部長
 - (8) 学務部長
 - (9) その他機構長が必要と認めた者
- 2 前項第 3 号から第 6 号まで及び第 9 号の委員は、機構長が委嘱する。

(任期)

第 4 条 前条第 1 項第 3 号から第 6 号まで及び第 9 号の委員の任期は、2 年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

- 2 前項の委員は、再任されることができる。

(委員長)

第 5 条 委員会に委員長を置き、センター長をもって充てる。

- 2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。
- 3 委員長に事故があるときは、あらかじめ委員長の指名した副センター長がその職務を代行する。

(議事)

第 6 条 委員会は、委員の 3 分の 2 以上の出席がなければ議事を開くことができない。

- 2 委員会の議事は、出席委員の過半数をもって決するものとする。

(代理者)

第 7 条 第 3 条第 1 項第 3 号から第 6 号までの委員に事故があるときは、代理者を出席させることができる。

2 前項の代理者は、当該教育研究組織の教授又は准教授とする。

(委員以外の者の出席)

第8条 委員会が必要と認めたときは、委員会に委員以外の者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

(委員会の庶務)

第9条 委員会の庶務は、学務部学務企画課において、事務局各課の協力を得て処理する。

(雑則)

第10条 この内規に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が定める。

附 則

この規程は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成30年4月1日から施行する。

北海道大学大学院医学研究院医学教育・国際交流推進センター内規

(趣旨)

第1条 この内規は、北海道大学大学院医学研究院・大学院医学院・医学部組織運営内規第9条第2項の規定に基づき、北海道大学大学院医学研究院医学教育・国際交流推進センター（以下「センター」という。）の組織及び運営について定めるものとする。

(目的)

第2条 センターは、医学研究院（以下「本研究院」という。）において医学教育に関する研究開発を行うとともに、医学院（以下「本学院」という。）及び医学部医学科（以下「本学科」という。）における教育活動並びに国際交流について企画、立案及び調整等を行い、本研究院、本学院及び本学科の医学教育並びに国際交流の推進に資することを目的とする。

(業務)

第3条 センターは、前条の目的を達成するため、次に掲げる業務を行う。

- (1) 医学教育についての研究開発並びに企画、立案及び実施等に関すること
- (2) 教育の評価システムについての研究開発に関すること
- (3) 医学教育についての情報収集及び解析に関すること
- (4) 共用試験（OSCE, CBT）の実施及び管理に関すること
- (5) 教員のFDについての企画及び実施に関すること
- (6) 本学科の医学英語に関する教育の企画、立案及び実施に関すること
- (7) 医学英語セミナーの企画、立案及び実施に関すること
- (8) 研究成果の国際的な発信の支援に関すること
- (9) 外国の大学との交流に関すること
- (10) 留学生の交流に関すること
- (11) 国際開発協力に関すること
- (12) 医学研究院・医学院・医学部医学科国際交流基金に関すること
- (13) その他医学教育についての研究開発及び推進並びに国際交流に関すること

(部門)

第4条 センターに、次に掲げる部門を置く。

- (1) 医学教育研究開発部門
- (2) 医学英語教育部門
- (3) 国際連携部門

(職員等)

第5条 センターに、センター長その他必要な職員を置く。

(センター長)

第6条 センター長は、医学研究院長（以下「研究院長」という。）をもって充てる。

2 センター長は、センターの業務を掌理する。

(統括副センター長及び副センター長)

第7条 センターに、副センター長を5名置き、次に掲げる者をもって充てる。

- (1) センターの教授
 - (2) 研究院長が指名する副研究院長
 - (3) 研究院長が指名する本研究院の教授（国立大学法人北海道大学特任教員就業規則（平成18年海大達第35号）第3条第2号に該当する特任教員のうち、特任教授の職にある者を含む。） 3名
- 2 前項第1号の副センター長を、統括副センター長とする。
- 3 統括副センター長は、センター長の職務を助け、センター長に事故があるときは、その職務を代理する。
- 4 統括副センター長は、センター長の指揮の下に、センターの業務をつかさどる。
- 5 第1項第2号の副センター長は、医学英語教育及び国際連携の職務を担当するとともに、統括副センター長を補佐する。
- 6 第1項第3号の副センター長は、以下の職務を担当するとともに、統括副センター長を補佐する。

- (1) 基礎・社会医学教育担当
- (2) 内科系臨床医学教育担当
- (3) 外科系臨床医学教育担当

7 第1項第3号の副センター長の任期は、2年とし、再任は妨げない。ただし、欠員となった場合の後任の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(部門長)

第8条 医学教育研究開発部門に部門長を置き、センターの教授をもって充てる。

2 医学英語教育部門に部門長を置き、前条第1項第2号の副センター長をもって充てる。

3 国際連携部門に部門長を置き、前条第1項第2号の副センター長をもって充てる。

(運営委員会)

第9条 センターに、センターの運営に関する重要事項を審議するため、運営委員会を置く。

2 運営委員会は、次の事項を審議する。

- (1) 教員の人事に関する事
- (2) 予算及び決算に関する事
- (3) 国際交流に関する事
- (4) センターの事業に関する事
- (5) センターの行事に関する事
- (6) その他センターに関する重要事項

3 運営委員会は、次に掲げる者をもって構成する。ただし、前項第1号に掲げる事項を審議する場合は、第1号から第5号までに掲げる者をもって構成する。

- (1) センター長
- (2) 統括副センター長
- (3) 副センター長
- (4) 医学科教務委員会委員長
- (5) 医学院教務委員会委員長
- (6) センターの教員（国立大学法人北海道大学特任教員就業規則（平成18年海大達第35号）第3条第2号に該当する特任教員を含み、北海道大学大学院医学研究院教育助教制に関する内規（平成20年11月27日制定）第1条に定める教育助教及び助教を除く）
- (7) その他研究院長が必要と認めた者 若干名

4 運営委員会に委員長を置き、センター長をもって充てる。

5 運営委員会は、構成員の3分の2以上が出席しなければ議事を開くことができない。

6 運営委員会の議事は、出席した構成員の過半数をもって決する。

7 委員長が必要と認めたときは、運営委員会に構成員以外の者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

8 第2項に掲げる審議事項のうち、同項第3号の国際交流に関する事項については、次条に規定する専門委員会に審議を付託し、議決させることができる。

(専門委員会)

第10条 運営委員会に国際交流専門委員会（以下「専門委員会」という。）を置く。

2 専門委員会は、次の事項を審議し、議決する。

- (1) 外国の大学との交流に関する事
- (2) 留学生の交流に関する事
- (3) 国際開発協力に関する事
- (4) 国際交流関連予算に関する事
- (5) 医学研究院・医学院・医学部医学科国際交流基金に関する事
- (6) その他国際交流に関する事

3 専門委員会は、次に掲げる者をもって構成する。

- (1) 第7条第1項第2号の副センター長
- (2) センターの教授
- (3) その他センター長が必要と認めた者 若干名

- 4 前項第3号の委員の任期は2年とし、再任は妨げない。ただし、欠員となった場合の後任の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 5 専門委員会に委員長を置き、第3項第1号の委員をもって充てる。
- 6 専門委員会は、構成員の3分の2以上が出席しなければ議事を開くことができない。
- 7 専門委員会の議事は、出席した構成員の過半数をもって決する。
- 8 委員長が必要と認めたときは、専門委員会に構成員以外の者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。
- 9 専門委員会は、審議結果等の活動状況について、適宜、運営委員会に報告するものとする。
(事務)

第11条 運営委員会及び専門委員会の庶務は、医学系事務部総務課において処理する。

(雑則)

第12条 この内規に定めるもののほか、センターの運営に関し必要な事項は、運営委員会の議を経て、センター長が定める。

附 則

- 1 この内規は、平成29年4月1日から施行する。
- 2 北海道大学大学院医学研究科医学教育推進センター内規（平成22年9月1日制定）は、廃止する。

附 則

- 1 この内規は、平成30年4月1日から施行する。
- 2 この内規の施行後、最初に任命される第10条第3項第3号の専門委員会委員の任期は、同条第4項本文の規定にかかわらず、平成31年3月31日までとする。

北海道大学大学院医学研究院医学教育・国際交流推進センター会議について

平成29年4月1日
医学教育推進センター長裁定

(目的)

1. 北海道大学大学院医学研究院医学教育・国際交流推進センター（以下「センター」という。）において企画・立案された事業，行事等（以下この項において「事業等」という。）についての具体的な実施方策を検討し，センターと大学院医学研究院，大学院医学院，医学部医学科及び北海道大学病院との連携を図りながら事業等を実施することを目的として，センター会議を置く。

(構成員)

2. センター会議は，統括副センター長を委員長とし，次に掲げる者をもって構成する。
 - (1) 統括副センター長
 - (2) 副センター長
 - (3) 医学科教務委員会委員長
 - (4) 医学院教務委員会委員長
 - (5) 北海道大学病院臨床研修センターの専任教員 1名
 - (6) センターの教員（国立大学法人北海道大学特任教員就業規則（平成18年海大達第35号）第3条第2号に該当する特任教員を含み，北海道大学大学院医学研究科教育助教制に関する内規（平成20年11月27日制定）第1条に定める教育助教及び助教を除く）
 - (7) その他センター長が必要と認めた者

付 記

- 1 この取扱いは，平成29年4月1日から実施する。
- 2 北海道大学大学院医学研究科医学教育推進センターにおける教育企画実施委員会の設置について（平成23年5月2日医学教育推進センター長裁定）は，廃止する。

付 記

- 1 この取扱いは，平成30年4月1日から実施する。